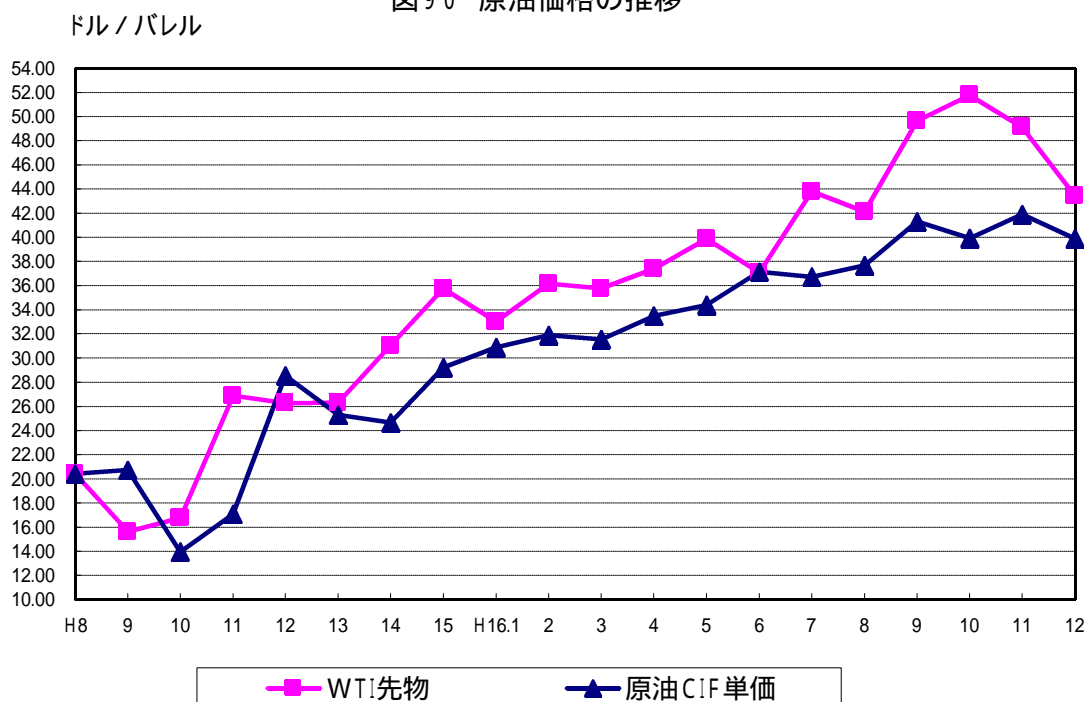


## 参考 原油価格の推移と県内のガソリン価格、灯油価格の推移

原油の国際指標価格であるWTI原油先物の推移をみると(図90)、90年代は1バレル=20ドル前後で安定的に推移した後、2000年(H12)以降はおおむね30ドル前後で推移したが、2004年(H16)に入り急速に上昇し、10月26日には55.17ドルと既往最高値を記録した。その後、年末にかけて原油価格は下落傾向に転じたものの、1バレル=40ドル前半とこれまでの平均的な水準に比べれば依然として高い水準で推移した。また、石油連盟で作成した原油CIF単価の推移をみても、WTI原油先物に比べれば低い水準だが、2004年(H16)に入りじわじわと上昇し、16年9月には40ドルを超え、その後40ドル前後と、WTI同様これまでに比べれば高い水準で推移した。

図90 原油価格の推移



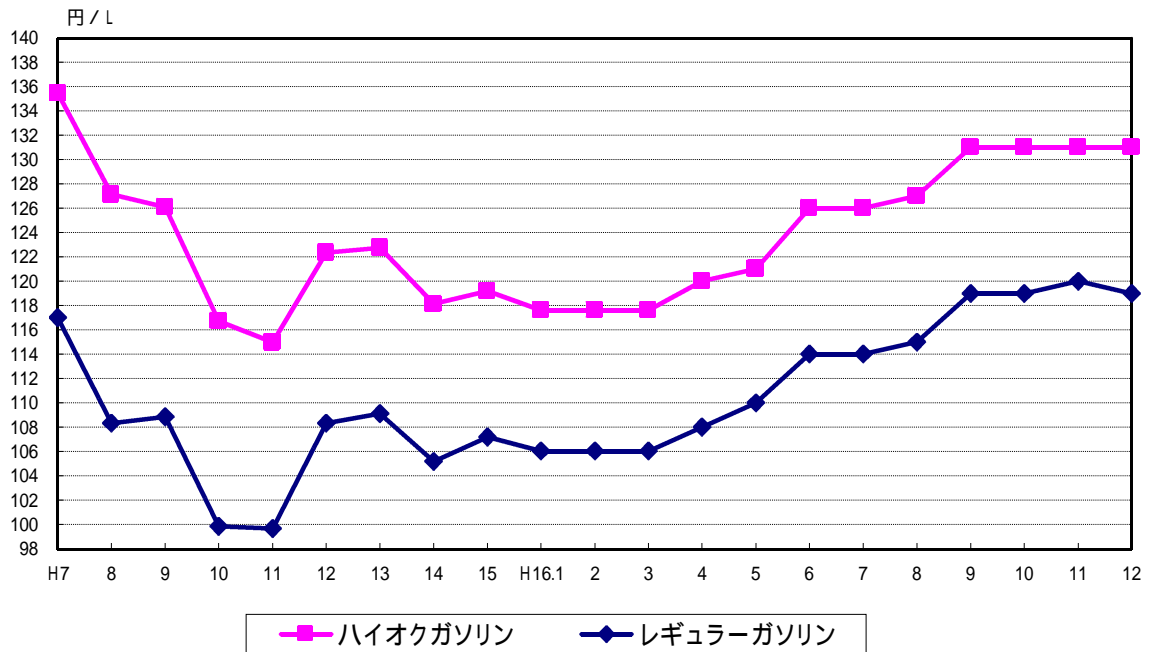
備考1 日本銀行「主要経済指標」、石油連盟「統計資料リスト」より作成

2 WTI先物: ニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)におけるウエスト・テキサス・インターメディアート(指標銘柄)の期近物(翌日渡し)の月末値

3 原油CIF価格は、石油連盟が財務省「貿易統計」より日本関税協会発行「外国貿易概況」を参考に産出したもので、保険料・運賃が含まれた価格

平成16年の福島県のガソリン価格の推移をみると(図91)、レギュラーガソリンについては、原油価格の高騰がガソリン価格への転嫁を通じて4月から上昇し、6~8月にその上昇テンポは緩んだものの再び上昇し9月には119円となり、その後年末にかけて120円前後で推移し、高止まりの状況が続いた。ハイオクガソリンについても同様の動きを続け、16年9月には131円となり、年末までこの価格で推移した。

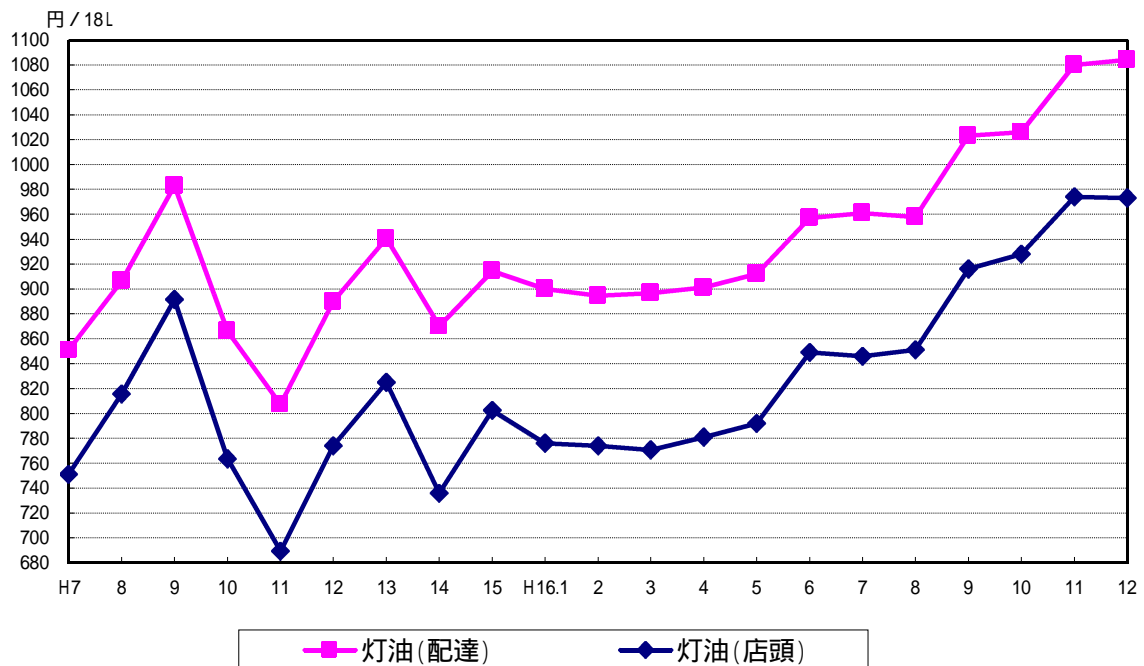
図91 ガソリン価格推移(福島県)



備考1 石油情報センター「給油所石油製品市況調査」より作成  
 2 H7から16年3月までは、消費税抜き価格であるため、消費税を含む価格に換算した。

平成 16 年の福島県の灯油価格の推移をみると(図 92)、ガソリン価格と同様に原油価格の高騰が灯油価格への転嫁を通じて 4 月ごろから上昇し、6 ~ 8 月にその上昇テンポは緩んだものの、9 月より再び上昇し、11 月には店頭価格が 974 円、配達価格は 1080 円となり、その後年末にかけても高止まりの状況が続いた。

図92 灯油価格推移(福島県)



備考1 石油情報センター「給油所石油製品市況調査」より作成  
 2 H7から16年3月までは、消費税抜き価格であるため、消費税を含む価格に換算した。